

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

横浜市立嶮山小学校

TEL: 902-7161,7162

FAX: 904-4254

平成30年8月27日

嶮山小通信

8・9月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代

「平成最後の夏休み」

校長 山口 昭代

平成30年度、2018年の夏休みが終わりました。

<37日間の夏休み>という時間が子どもたちにもたらした数々のかけがえのない学びは、きっと、学校生活再開の中で、一人ひとりの姿の中に、確かな成長として表れてくるものと思います。事故や事件に巻き込まれることなく、大きなけがや交通事故に見舞われることなく、元気な心と体で8月27日を迎えられたことを、何よりうれしく思います。

今年の夏の、特に7月後半の気温の暑さは、日本全国を脅かすほどでした。ここ横浜でも、夏休みに入る直前の数日は、子どもたちの体調不良や熱中症への不安や心配がふくれ上がるほどの猛暑で、私たち嶮山小学校教職員も、例年にない内容の暑さ対策会議を、連日のように行っていたような気がします。

特に、今年は嶮山小学校が青葉区水泳記録会の会場であったため、7月31日の開催当日に向けては、体育部の先生方を中心に、会場校として、例年にはない状況を想定して、万全の準備を進めました。プールサイドは40度近くまで気温が上がってしまうことから、保健室をエアコンで冷えた待機ルーム（退避場所）として設営したり、当日のプールの水温を25度に維持できるように、前日までのプール管理スケジュールを全面変更したりして、対応してきました。前日には、青葉区体育研究会の支部長と世話人代表の三橋校長(すすき野小)が、青葉区内の8会場をすべて巡回し、安全の徹底と、子どもや教職員への激励を伝えてくださいました。こうした、組織的な努力や配慮に守られて、安全で安心できる教育活動を展開できることを実感した水泳記録会でもありました。

荏子田小・美しが丘西小・すすき野小・嶮山小の四校の子どもたちは元気いっぱい。照りつける太陽の光や暑い気温に負けず、自己最高記録のラッシュでした。

嶮山小学校からは、6年生の東條颯大さん、伊藤悠さん、黒川和輝さん、5年生の吉田明暉さんが個人種目で市の大会に出場し、さらに男子200Mリレーは、東條さん・伊藤さん・6年生の吉相陽平さん・吉田さんの4人が青葉区31校中、第4位という好記録で市の大会に出場しました。今年度から、横浜国際プールで行う市の水泳大会についても、区の大会同様に水中スタートとなり、飛び込みを行わないため、昨年度までの大会記録等との比較はできませんが、代表選手のがんばりは見事で、正に、新しいスタートを切るにふさわしい水泳大会となりました。

そして、折しも、8月18日には、インドネシアのジャカルタでアジア競技大会が開幕しました。アジア大会は原則4年ごとに開催されるアジア版のオリンピックで、今回は45か国・地域から約1万1千人の選手が参加し、陸上や水泳など42競技465種目が行われるそうですが、早くも、大会二日目の水泳競技、女子4×100Mリレー決勝に「われらが、嶮山小先輩・五十嵐千尋選手」がアンカーで登場し、一位を守り抜いての力泳で3分36秒52という日本新記録で金メダルに輝きました。素晴らしい快挙！！最高に嬉しい夏の思い出の一つとなりました。

子どもたちにも、心が動く経験を、たくさん積み重ねてほしいと思いました。保護者、地域、関係のみなさま、9月からもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。